

こもれび

題字 北村正平市長



令和7年度静岡県スポーツ推進委員実技研修会(8/2)にて

第37号



- ・県実技研修会(袋井市)(8/2)
- ・審判研修会(8/22)
- ・第24回藤枝市室内ペタンク大会(8/24)
- ・県研究大会(沼津市)(8/31)
- ・先進地視察研修(深谷市)(9/20~21)
- ・第8回藤枝市ワンバウンドふらば〜る大会(10/5)
- ・後期ニュースポーツ教室(9月~10月)
- ・志太フレンドリーマッチ第23回室内ペタンク大会(11/9)
- ・三郷市・藤枝市スポーツ推進委員交流会(11/29)
- ・スポーツ&健康フェスタinふじえだ(12/13)

編集・発行

藤枝市スポーツ推進委員会 広報部

2026年1月

静岡県スポーツ推進委員実技研修会

令和7年8月2日(土) さわやかアリーナ袋井市総合体育館

今年度の実技研修会場は袋井市で行われ、藤枝市からは17名が参加し、2～3の軽スポーツを楽しみました。

令和7年8月2日(土)さわやかアリーナ袋井市総合体育館にて、各市町村の推進委員と行政関係を含め459人の参加者のもと静岡県スポーツ推進委員実技研修会が開催されました。藤枝市スポーツ推進委員の参加者は、16名でした。

竹田会長の挨拶でスタートし、アイスブレイキングで他市の方と知り合うことのできるグループ作りで参加者の心をほぐし展開していきました。

午前中には、音楽のリズムに合わせて身体を動かし運動能力を高めるリズムトレーニングを体験しました。そして昼食をはさみ身近なものを使い簡単な準備で楽しくできる運動を体験しました。

まず、参加して印象に残ったことは、袋井市スポーツ推進委員の方々が、手作り用具の準備等事前準備が丁寧にされていたことや協力し合いながら運動を提案していく姿に、推進委員同士のコミュニケーションの良さを感じました。

参加して感じたことは、午前の部の内容が令和4年に浜松市での実技研修会で実施した内容と重複していたことです。内容は似ていても、子供向けの内容を工夫してジャンプでの活動を減らし参加者の年齢を考えた内容が提案されると参加者の負担も軽減でき、研修もさらに深まると感じました。

一日研修に参加したことで藤枝市スポーツ推進委員皆さんと親睦ができたことが良かったです。

今後は、実技研修会に参加したことを生かし、市民の方々の健康づくりのお手伝いができるように微力ながら役割を果たしていきたいと思いました。

中田 朋子



藤枝市スポーツ推進委員審判研修会

令和7年8月22日(土)藤枝小学校体育館

藤枝市が競技大会として行っている「ワンバウンドふらば〜る」や「室内ペタンク」、また、新しくニュースポーツとして取り入れた「室内モルック」に対して審判としての経験を積み、円滑な審判ができるよう39名の推進委員が参加し、研修会を行いました。

「ワンバウンドふらば〜る」「室内ペタンク」「室内モルック」の進行について、審判の経験が少ない委員が円滑に行えるよう、審判研修会が行われました。私は「室内ペタンク」の担当に。審判研修は実践的の競技形式で「対抗試合という体験の中でのルール気づきと問題点」発見作業。そして審判員としての自覚と意識づけ。とても大切で大きな課題だと思いました。

審判研修会の1時間45分を通して「短い時間の中で審判員の大切な役割（ルールの確認や審判員の動作など）」「室内競技(ゲーム)を通して、参加者(市民)を怒らせないように、ルールに従ってもらう方法。参加者とのふれあいやコミュニケーションの取り方」までスポーツ推進委員を長年実践している皆さんから教わった気がしました。

最後に当たり前かもしれませんが、スポーツ推進委員会審判研修会は、推進委員の交流・交歓の場でもあると気づきました。

田中 芳和



第24回藤枝市室内ペタンク大会

令和7年8月24日(日) 藤枝市民体育館

恒例となっている室内ペタンク大会が24チーム87名の参加により盛大に執り行われました。

第24回藤枝市室内ペタンク大会が、8月24日藤枝市民体育館で行われました。スポーツ推進委員をさせていただき今年で2年目を迎えます。今回は審判のお役をいただきました。

昨年の内容を思い出してはみましたが大分記憶が曖昧になっていました。大会の2日前に審判研修会があり、とても助かりました。

自分はペタンクの採点方法がちょっと理解しがたく、当日周りの方々にご迷惑をかけてしまうのではと心配でしたので、審判研修会はとても有意義でした。

当日は、ご家族・職場の方々・親しいの方々等多くのチームに参加していただきました。大きなトラブル等なく、全体的に和気あいあいのいいムードで大会を終了することができたと思います。

一つ思いましたのは、審判の立場として大会の趣旨を踏まえ、どこまでルールに則する立場をとってゆけば良いのかと思いました。

貴重な体験ありがとうございました。

増田 久雄

参加チーム

- ・下藪田No.1
- ・郡一クドウチーム
- ・広幡B
- ・平島二B
- ・チーム青南B
- ・広幡C
- ・チームMAANO
- ・稲川A
- ・広幡A
- ・楽しい女子会
- ・チーム青南A
- ・広幡D
- ・WBC
- ・夏よりも暑い兄弟
- ・チーム桂島A
- ・稲川B
- ・中央小の小さな天使たち
- ・前島壮年会
- ・チーム桂島B
- ・未来の宝
- ・チーム青南C
- ・平島二A
- ・西益津自治会
- ・備蓄MY

★第1位チーム★

- 👑 下藪田No.1
- 👑 チーム青南A
- 👑 前島壮年会
- 👑 西益津自治会
- 👑 広幡C
- 👑 広幡D



静岡県スポーツ推進委員 研究大会

令和7年8月31日(日) 沼津市民文化センター

今年も功労者や永年勤続表彰を兼ねて、焼津市・松崎町の研究発表や公演が催されました。

令和7年8月31日(日)沼津市民文化センター大ホールにて、静岡県スポーツ推進委員研究大会が開催されました。

始めに表彰式が行われ、藤枝市スポーツ推進委員から塚本さんと長瀬さんが永年勤続表彰(10年以上勤務)を受けられ、藤枝市の推進委員から「おめでとう」の大きな拍手がわき、喜びを分かち合いました。

研究発表は、「誰もが楽しめるスポーツの推進」を主題に、焼津市が「より多くの市民が参加できるスポーツの場の提供～年齢・性別・経験値・運動能力の差にとらわれない！～」の演題で発表しました。三本柱の事業(地域スポーツ祭、サタデースポーツ、協力事業)を通して、市民に対してスポーツに触れる機会を創出してより多くの市民がスポーツを楽しめるようにアプローチしてきたという内容でした。松崎町は、「スポーツにおけるウェルビーイング～心と身体～」の演題で発表をしました。松崎町のスポーツ推進委員からは、自治会によって温度差があるけれど、少子高齢化が進んでいるので、地域の絆作りが大切になると話されていました。

講演では、「技術と工夫が拓く、誰もが楽しめるスポーツの実現」という演題で、遠藤謙氏の競技用義足のテクノロジー開発についてのお話がありました。すべての人の「走りたい」を叶えるという経験について、熱のこもったお話を聞くことができました。



この研究大会に参加することで、推進委員同士が会話をする機会が増え、コミュニケーションが深まったことも大変有意義でした。一日帯同してくださったスポーツ振興課池田さんとバスの運転手さんに感謝申し上げます。

中田 朋子

塚本さん、長瀬さん
おめでとう！！

先進地視察研修

令和7年9月20日(土)～21日(日) 埼玉県深谷市

今年度は新一万円札の肖像となった渋沢栄一や深谷ネギで有名な、埼玉県深谷市へ。推進委員13名で色々なニュースポーツを体験してきました。

視察研修が、9月20日(土)～21日(日)にありましたので、報告致します。

埼玉県と云えば、熊谷市の気温が毎年話題になりますが、深谷市も熊谷市に近く暖かで、毎年40℃前後になります。冬になれば、赤城山下ろしで、風が強いところですよ。

空間にゆとりがあり、なんか空気感が、藤枝と違って感じました。畑も多く赤城山も遠くに見えて、さすが関東平野です。

さて、深谷市の体育施設は、ほぼ100%が、冷房完備で、花園公民館体育施設は、真夏なのに、適度な温度に冷房されていて、高齢者集団は、熱中症を気にせず心地よい環境で、交流が出来ました。

実技研修会では、四面卓球バレーとボッチャ&モルックにバケツツ&ふっかちゃん体操を経験させてもらいました。

四面卓球バレーとバケツツ&ふっかちゃん体操は、新しい体験でした。四面卓球バレーは、卓球台を2つ合体させて、ワンチーム4人×4チームの、なんと16人で、行う競技です。桐材質の長方形ラケット(チョトテーパがかかっている)で打ち合い失点方式で、競うもので、ボールをコート面から、浮かしてしまうと反則失点するので、打ち込みの際には、注意! 注意! 打ち込んで、相手選手の額に2回もヒットさせたスナイパーヒットマンもいました。

バケツツは、ボールとバケツをブルーシートの上で、操る競技です。複数人でシートを持ちシートを上下に動かして、ボールをバケツに入れバケツを立てるのですが、全員の呼吸が合わないとなかなかバケツを立てるとこまで到達出来ません。

最後に、ふっかちゃん体操は、オリジナルの曲と一緒にやりました。これは、子供に受けるなと思います。藤枝市の文化PRキャラクターの「えだっこ」体操を考案しては、どうでしょうか??

その他に、モルックの得点板は、工夫されており、使えるなと思いました。

文化面では、渋沢栄一(壱万円表)の出身地と言うことで、渋沢栄一ゆかりの文化遺産を学習し、展示物の中に、お金のレプリカがありましたが、お土産に渋沢栄一の印刷された〇〇銀行券が欲しいなとふと思いました。

竹山 正美



ふっかちゃん体操



バケッツ



第8回藤枝市ワンバウンドふらば～る大会

令和7年10月5日(日) 藤枝市民体育館

今年で第8回目となるワンバウンドふらば～る大会が16チーム109名の参加者で大いに盛り上がりました。

私がスポーツ推進委員になった年からワンバウンドふらば～るバレーボールの教室が始まり、交流大会、市大会、志太地区大会と賑わいを増してきたのではないかとと思われる。あれから10年、藤枝市大会は8回目を迎え、今回は藤枝大祭と重なりメンバー抽出に苦戦したチームもあったようだが、各チーム満足のいく大会になったのではないと思う。

ふらば～るをニュースポーツとして推奨したころはおむすび型のボールを受けることやルールを把握するのに苦戦していた教室の生徒さん、各自治体で練習を始めたチーム、推進委員の審判員も脳がフル回転してこのニュースポーツ大丈夫？とっていたに違いないと思う。それが今大会中でひと試合ごとにチームが成長、上達するようになっている。強いアタックをするチーム、強いアタックを受けれるようになるチーム、失敗を確認して次は成功するように繋げる、チーム内で声を掛け合うなどひとつのスポーツが発展していく様が見られる大会だったと思う。

これからもワンバウンドふらば～るを通して身体を動かすこと、脳を活性化すること、コミュニケーションをとることを大切にして大会を活性化する方法を考えられるといいなと思う。

塚本 泰子



★大会結果★

Aコート

🏆第1位 五十海B

Bコート

🏆第1位 WBC SEED

Cコート

🏆第1位 五十海A

Dコート

🏆第1位 M.HEROES

後期ニュースポーツ教室

令和7年9月～10月
ワンドムンぶらば～る:青島中学校学校
室内モルック:岡部体育館

青島中学校体育館において2年目のスポーツ推進員で本格的に参加させていただきました。

体操、柔軟運動の後ランダムにチーム分けし、試合形式を中心に進み先輩指導スタッフに教えられながら試合に参加したり審判をしながらの教室です。本年度後期ということもあり、生徒さんは経験者がほとんどで、教えられる事も数多くありました。

また、審判行動も丁寧に教えてもらいだいぶ慣れてきました。

途中大会があり事情で全試合副審を務めさせていただき機会がある意味幸運だったと思います。次は主審を務められるように頑張ります。

高井 秀喜



2025年9月1日から10月27日までの約2か月間にわたり、「室内モルック教室」が開催され、無事に全日程を終了しました。開催日は毎週月曜日で、祝日にあたる9月15日と10月13日は休講となりました。開催時間は夜7時から9時。参加者は男性8名・女性9名の計17名でした。

教室では、モルックの基本から応用までを楽しく学ぶことを目的に、和やかな雰囲気の中で毎回の活動が行われました。最初の数回は、2種類の道具を使って練習を行い、参加者がモルックのルールや投げ方に慣れることを目指しました。道具の違いによる感覚の変化を体験することで、より柔軟なプレーが可能となり、回を重ねるごとに技術の向上が見られました。

また、参加者同士の交流も深まり、教室は単なる技術習得の場にとどまらず、仲間づくりの場としても大きな役割を果たしました。委員長の村松さん、会場主任の牧田さん、指導主任の高橋さんをはじめとする指導者の皆様が積極的に協力し、場を盛り上げながら、生徒の皆さんが安心して楽しく参加できるよう工夫を凝らしてくださいました。そのおかげで、教室全体が明るく活気のある雰囲気となりました。

モルックはフィンランド発祥のニュースポーツで、年齢や体力に関係なく誰でも楽しめる競技です。今回の教室を通じて、参加者の皆さんが新しいスポーツに親しみ、仲間との交流を深める貴重な時間となりました。

田中 寿人



令和7年度 志太地区フレンドリーマッチ 第23回室内ペタンク大会

令和7年11月9日(日) 焼津市総合体育館

11月9日 シーガルドームにてペタンク大会が行われました。

若い人からお年寄りまで、さまざまな年代の方が参加されました。会場は和やかな雰囲気にも包まれ、参加者同士が声を掛け合いながら、楽しく競技に取り組んでいる様子が印象的でした。

一方で、試合が進むにつれて真剣な表情も多く見られ、白熱した場面もありました。

私は今回、はじめて審判を務めたため、最初はとても緊張しました。焦りもありましたが競技が進むにつれて少しずつ落ち着き、公平に判定することや選手との交流がスムーズな進行につながりとても大切だと実感しました。

楽しくもあり、学ぶことの多い大会となりました。

木村 健司



推進委員は審判として
活躍しました！
ありがとうございました。

三郷市・藤枝市スポーツ推進委員交流会

令和7年11月29日(日) 藤枝市民体育館

令和5年度に視察研修で訪問した埼玉県三郷市から23名が来藤され、有意義な実技研修・情報交換が行われました。

令和7年11月29日(土)午後1時30分頃から三郷市のスポーツ推進審議会委員とスポーツ推進委員合わせた20名とスポーツ振興課職員3名を加えた計23名を藤枝市民体育館に迎え、三郷市・藤枝市スポーツ関係委員交流会が行われました。

藤枝市からの参加は推進委員11名、事務局3名でした。

はじめに村松委員長の挨拶、続いて三郷市スポーツ推進委員連絡協議会会長遠井和子さんの挨拶がありました。

次に三郷市の推進委員がとなりのトロの「さんぽ」の曲に合わせて体を動かす体操を披露してくれました。藤枝市の推進委員も見よう見まねで一緒に体を動かしました。続いて竹田副委員長の担当で準備体操を行いました。

実技研修はまず三郷市の担当でポッチャをやりました。三郷市と藤枝市が混合で3コートに分かれて行いました。

次に藤枝市の担当でモルックを行いました。1チーム4名(三郷・藤枝混合)を9チーム作り、1コート3チームずつ3コートに分かれて行いました。このチーム分けを3ゲーム分、前日の深夜まで掛かって作ってくれたのは村松委員長でした。

当日の進行を任されたのは、私でしたが、三郷市の方にも経験者がいて、トラブルもなく出来て良かったです。時間の都合で2ゲームしか出来ず残念でした。

実技研修の後、三郷市推進委員の村井晃二郎さんの司会で意見交換会が行われました。両市から3つくらいずつ質問が出て、有意義な交換会でした。

2時間余りの交流会でしたが、とても時間が短く感じました。

高橋 康夫



第19回スポーツ&健康フェスタ

令和7年12月13日(土) 藤枝市民体育館

藤枝市スポーツ推進委員のメインイベントであるスポーツ&健康フェスタが今年も大勢の来客により盛り上がりました。目玉事業として今年にはUC藤枝の一輪車チームを迎えました。

平成19年度から開催し、今年度で19回目。天候にも恵まれ、無事に終わることができた事が何よりの喜びです。

私はこのイベントに初めから運営委側の一員として関わってきました。毎年一番の悩みは目玉事業。なぜなら来場者を引き付けるような目玉事業を実施することで、既存のスポーツコーナー、健康コーナーを充実させることができるからです。

今年が目玉事業は一輪車パフォーマンス！一輪車に乗ってリズムにあわせて華やかに踊る美しい姿に目を奪われ、素晴らしかったです。

参加者の感想は一律に参加してよかった、楽しかった、あのスポーツ面白かった、生活の乱れがわかったなど、そして来年も参加したいという声でした。

世情の流れもあり、毎年参加者の数が川の流れのように上下しますが、参加して良さがわかるイベント「スポーツ&健康フェスタ」。気持ちよく協働してくれる関係企業、団体の一つの心できせきを起こすくらい、来年こそ多くの人に参加してもらいたいです。

竹田 利恵子





事前準備から、当日の運営まで
ご協力
ありがとうございました！



編集後記

令和7年の漢字は「熊」でした。自然環境の変化にともない、猛暑・地震・竜巻・火災・野生動物による被害など様々な災害が発生しています。インフルエンザも大流行しました。

三大イベントの1つスポーツ&健康フェスタも無事終了しました。リバティ駅伝・ふじえだマラソンと続きます。

朝比奈友見